

在沖基地面積 韓国 の 1.5倍

在沖米軍基地の総面積は、世界でドイツ、日本に次いで多くの基地を抱える韓国の約1・5倍に達する」とが、米国防総省がこのほど公表した。

米国防総省公表

2000年度版「基地構造報告書」(暫定版)で判明しました。沖縄の県土面積は韓国の約44分の1でしかなく、世界で最も基地が集中する沖縄県の異常な実態があらためて浮き彫りになりました。

(1面参照)

同報告によると、在韓基地の総面積は約3万9千坪(約122・2平方キロ)なのに對し、在沖縄基地の総面積は約4万50005坪(約182・4平方キロ)に達します。沖縄本島は面積の約15%を米軍基地が占めています。あるいは地上戦



米海軍普天間基地(沖縄県宜野湾市)

訓練が可能とされ、ベトナム戦争やイラク戦などの出撃拠点となつたキャンプ・ハンセンやキャンプ・ショワード、3700ftの滑走路を2本有し

「極東最大の航空基地」とされる嘉手納基地や、市街地の真ん中に位置し「世界一危険」といわれる普天間基地など、国土の0・6%しかない県

土に大規模基地が集中。50年前の本土復帰で県民が願った「基地のない平和な沖縄」と裏返の現実が広がっています。